



灼熱の42kmナイロビマラソンをゴールした直後

## Study Abroad Report 留学体験記



経済学部  
企業経営学科  
4回生 **梶原 孝明**  
朝倉高校(福岡県)

## ニューヨーク留学体験記

### ビジネスの本質

1回生の春、シアトルのリーダーシップ研修で、ビジネスで社会問題に挑む人々を目にしました。以来、「ビジネスの力で世界にインパクトを与える。」その夢に向かって、世界で戦える専門性を、ゼミ活動を通して磨いてきました。

### 名門、NY大学での留学

ニューヨークに降り立った私の目の前に広がっていたものは、世界経済の中心であるウォールストリート、ミュージカルの代名詞ともなっているブロードウェイ、ヤンキースタジアム、驚くような光景の数々でした。世界No.1が集まる都市、ニューヨークでの7ヶ月間の留学で、あらゆる分野の「本物」に触れました。

ファイナンス分野において世界屈指の評価を受けている憧れのニューヨーク大学で、想像を絶する超高速かつ高度な討論に苦心しました。しかし、弓道部で身に付けた骨太精神とゼミで鍛えたファンダメンタルを發揮して、最後はトップクラスの成績を修めることができました。実務に精通している社員やMBA修了済みのクラスメイトと熱く議論し合えた時間は、生涯の宝となりました。



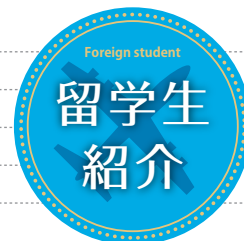
大学で熱く討論したプレゼンチーム

### ファイナンスで貧困に挑む

留学後、ケニアのマイクロファイナンス機関で4ヶ月間のインターンシップに挑戦しました。融資に奔走しながらゼロから立ち上げた農業改革プロジェクトを通じて、地方が活性するさまを間近で見ることができました。ハエの混じった食事や強盗まがいの兵隊。苦難の連続でしたが、「本気で向き合えば、文化の壁も越えられる。」そんな教訓を得たかけがえのない経験となりました。



国際交流会館に住んでいる留学生  
(最後列左から2番目)



経済学部 特別聴講学生

**ヴェガ ロベス エダリック マルティン アリ**  
(ニックネーム:エダス)

## 言語学習を通じて

私はメキシコから来たエダスといいます。メキシコのグアナフアト大学で会計の勉強をしています。4年前に初めて日本に来て日本語を勉強しましたが、日本語を学ぶことは難しいと思いました。しかし、日本の文化や生活が好きで、初めて日本で友人になった人たちが素敵で親切だったので、滋賀大学経済学部で留学することを決めました。

来日後、メキシコと日本の違いに感銘を受けました。そして、今ではまるで自分の第二の故郷のように日本と滋賀に愛着を感じています。交換留学生として暮らすなかで、言語の問題はありましたが、最初の日本語の先生が「日本語を話すことは難しいけれど、私にできたのだからあなたにもできる」と私に言ってくれました。この言葉を励みにして、日々日本語の勉強に力を注いでいます。



ゼミ生歓迎会の一コマ

また、留学生が住まう国際交流会館の仲間は、まるで家族のようです。私の趣味は言語を学ぶことなので、彼らから様々な言語を習っています。多様な言語で「こんにちは、おはよう、いただきます」などはもちろん、日常的な会話もできるようになりました。

そして、経済学部での勉学面で最も重要な活動は、宮西ゼミでの研究です。宮西ゼミのメンバーはみな友好的で、公私ともに親しく付き合ってくれ、私の留学生活を支えてくれています。言語を学ぶことで、多くの仲間を作ることができました。



練習に参加する柔道部のメンバーと